

2021年7月5日

アルミ樹脂複合板「アルポリック®」抗ウイルスグレードで SIAA マークを取得

三菱ケミカル株式会社
三菱ケミカルインフラテック株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之）のグループ会社である三菱ケミカルインフラテック株式会社（本社：東京都千代田区、社長：福居 雄一）は、アルミ樹脂複合板「アルポリック®」シリーズのひとつである抗ウイルスグレードで SIAA マーク^{※1}を本年6月に取得しました。

アルポリック®シリーズは表面にアルミニウム、芯材に樹脂を使用した3層構造からなるアルミ樹脂複合板で、さまざまな意匠・加工性・耐候性を持った銘柄を揃え、幅広い用途で使用されています。1970年代の生産・販売開始から現在に至るまで国内トップシェアであり、海外では世界130カ国以上への販売実績を誇ります。

アルポリック®抗ウイルスグレードは、「アルポリック®」が持つ軽量・高剛性・高平滑性はそのままに、表面塗装に抗ウイルス加工^{※2、3}を施した安心・安全で清潔感のある内装仕上げ材です。予め抗ウイルス加工剤を含有させた塗料を焼付塗装しているため、取り付け後は抗ウイルス剤の塗布等が不要となり工数削減に貢献します。さらに、一般的なエタノールや次亜塩素酸ナトリウム等の消毒剤を用いて拭き掃除しても、外観や抗ウイルス性能において耐久性を有しています^{※4}。

今後は、お客様からのご要望に幅広く応じるべく、不燃内装仕上げ材「ALPOLIC / fr INNER LIGHT™」にも本グレードを展開し、ラインナップを拡充する予定です。

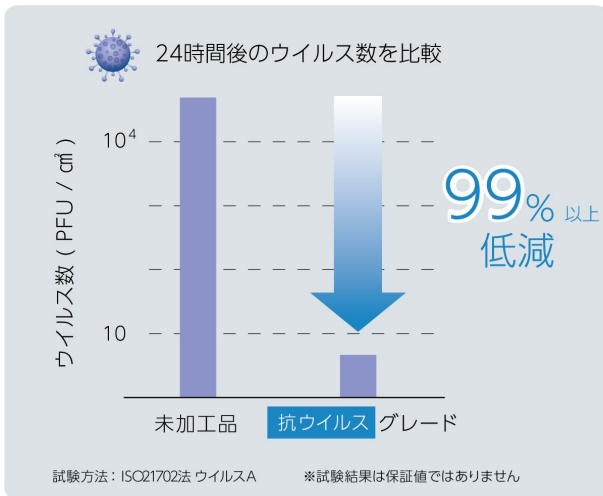
※1 SIAA マークは、ISO21702 法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

※2 製品上の特定のウイルスの数を減少させます。すべてのウイルスに効果を保証するものではありません。

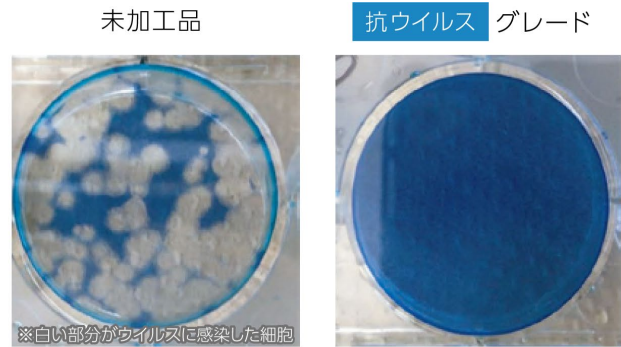
※3 抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。

※4 弊社での試験結果であり、使用状況によっては影響を及ぼす恐れがあります。

【 抗ウイルス性試験結果 】



【 抗ウイルス性試験の様子 】



【 抗ウイルス性能における耐消毒剤試験結果 】

※試験方法 (抗ウイルス性試験：ISO21702 ウィルス種 ATCC VR-1679)

消毒剤を含ませたウエスで 100 回拭いた試験体の抗ウイルス性を確認する。

次亜塩素酸ナトリウム (0.05%)	エタノール (70%)
抗ウイルス活性あり	抗ウイルス活性あり

【 外観における耐消毒剤試験結果 】

※試験方法

消毒剤を含ませたウエスで約 1kgf の力を与えながら試験体を 100 往復擦り、水洗い除去後に汚染状況を確認する。

次亜塩素酸ナトリウム (0.05%)	エタノール (70%)
外観変化なし	外観変化なし

※抗ウイルス活性ありは、未加工品と比較して抗ウイルスグレードの抗ウイルス活性値が 2.0 以上であることを意味します。

※消毒剤が表面に付着した状態で放置すると艶の変化等が生じる恐れがありますので、拭き取り乾燥させることをおすすめいたします。

※上表はいずれも試験結果の一例であり、結果を保証するものではありません。

【 抗ウイルスグレード 製品写真 】



【 SIAA マーク 】

SIAA

ISO 21702

抗ウイルス加工

有機合成抗ウイルス加工剤・塗装
表面塗膜
JP0612373X0001E

SIAAマークは、ISO 21702法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

！ 注意事項

- ・ 抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。
- ・ SIAAの安全性基準に適合しています。

【プレスリリースに関するお問い合わせ】

株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室 TEL:03-6748-7140

【製品に関するお問い合わせ】

三菱ケミカルインフラテック株式会社

機能素材ビジネスユニット 機能素材部 TEL:03-6748-7349